

2018年9月5日  
北海道胆振総合振興局  
白老町  
北海道旅客鉄道株式会社

## 白老駅周辺整備事業の実施について

白老町のポロト湖畔において、2020年4月の開設に向けて整備が進められている民族共生象徴空間（国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園等）の来場者（年間目標100万人）の受け入れに向けた交通アクセス整備を図るため、北海道胆振総合振興局・白老町・北海道旅客鉄道株式会社は白老駅周辺整備事業を実施します。

### 1. 白老駅周辺整備事業の概要

#### 【計画概要】

#### ①駅のバリアフリー化 [事業主体：北海道旅客鉄道株式会社]

駅のバリアフリー化により、鉄道利用者の移動の円滑化と利便性の向上を図ります。

- ・乗換こ線橋通路・階段新設
- ・改札内エレベーター新設（2基、スルー型11人乗）
- ・上りホーム高さ改良（約20cm嵩上げ）
- ・駅舎内改修（自動ドア新設、LED列車発車標新設等） など

#### ②町道末広東町通（自由通路）整備 [事業主体：白老町]

人道跨線橋の老朽架け替えにより、南北のまちの往来の円滑化と利便性の向上を図ります。

- ・自由通路（幅員3m）、南北昇降棟（エレベーター2基・スルー型17人乗、階段）

#### ③駅前広場整備 [事業主体：北海道]

駅前広場整備により、鉄道とバス・タクシー・自家用車との乗り継ぎ機能の強化を図ります。

- ・面積：約2,680㎡
- ・施設：バス乗降場、タクシー乗降場・待機場、自家用車乗降場、自家用車短時間駐車場

#### ④合築施設（駅舎、白老町施設）の増改修 [事業主体：白老町]

合築施設の増改修により、象徴空間の玄関口として相応しい施設整備を図ります。

- ・公衆トイレ増築（多目的トイレ、一般用トイレ）、観光案内ブース整備
- ・建物内外装リニューアル

#### 【供用開始】

- ・2020年4月迄（順次供用開始予定）

### 2. その他（今後の検討事項）

- 象徴空間開設にあわせて、特急スーパー北斗の一部を白老駅に停車させる方向で、検討を行います。
- 北海道及び白老町の要請による臨時改札（自由通路直結）の設置について、検討を行います。

